検証実験のイメージについて

資料6

○　屋内の住宅用防災警報器と連動し、早期に火災を覚知し、迅速に初期消火を行うために、屋外に設置する警報装置等を活用し、屋外に火災警報を伝達する新たな方式の技術基準の課題について検証することが必要。

検証実験イメージの概要

技術基準の課題として、屋外に火災警報を伝達する上で、特に音（音の聞こえ方）や光について、検証することが必要である。

1．共通条件
（1）　一般的な住宅地で、日中及び夜間を想定し、検証してはどうか。
（2）　電池式かつ無線式で、可能な範囲を上限とし、検証してはどうか。

2．音による警報（案）
（1）　音圧（70dB、80dB、90dB）
（2）　種類（音・音声）

3．光による警報（案）
（1）　点灯方法（作動時点灯・点滅）
（2）　明るさ（照度・輝度）